

# アスペン現代社会セミナー

## ～古典に学ぶ政治・経済の本質～

本セミナーでは、今日の政治・経済システムの生成と深く関連する代表的な古典のテキストを読み、現実のデモクラシーと市場の抱える問題を根本に立ち戻って考えます。リーダーとして活躍される方々が、組織、社会、国家、そして世界の今後を考える上で、高い視座からの洞察力を涵養するプログラムです。

プログラム・ディレクター 兼 リソースパーソン



### 猪木 武徳 先生

大阪大学 名誉教授  
一般社団法人日本アスペン研究所理事

京都大学経済学部卒業。マサチューセッツ工科大学大学院博士課程修了。大阪大学教授・経済学部長、国際日本文化研究センター所長などを経て、現職。著書に『経済思想』、『自由と秩序』、『増補 学校と工場』、『経済成長の果実』、『戦後世界経済史』、『自由の思想史』他。

【開催日】 2019年3月1日(金)～3月3日(日)

【会場】 クロス・ウェーブ府中

<https://x-wave.orix.co.jp/fuchu/access/index.htm>

### 【セミナーのねらい】

「アスペン現代社会セミナー」は、「社会と組織の中に生きる人間」に焦点を当て、政治、経済、経営の分野の古典を対話の素材として取り上げています。

現代の産業社会に生きる人間は、デモクラシーと市場経済を中核とする体制のもとで生活しています。また、リベラリズムとナショナリズムをいかに調和させるのかという問題を現代社会は避けて通ることはできません。

これからのリーダーに求められるのは、こうした体制の長所と欠点を正確に理解しつつ、この体制の原理をさらに「善き社会」の生成に結び付くような形で修正し発展させていく努力です。未来に向けて少しでも何かを為そうと努力する者は、過去に目を向け、人間にとって変わることのない真実を学ばなければなりません。

<猪木先生扉文より抜粋>

## 【セミナーの特長】

このセミナーは、現代の様々な課題について、古典などの作品を媒体とした対話を通して、その本質に迫っていかうとするもので、「社会と組織の中に生きる人間」に焦点を当て、政治、経済、経営の分野の古典を対話の素材として取り上げています。

参加者同士の対話だけでなく、様々な分野の一流の講師陣との豊富な対話の場により、深い気づきを得ていただけるものと確信しております。

また、すでにアスペンの各種セミナーに参加された方にとっては「アスペン現代社会セミナー」は、古典との対話の経験が、現代の課題とより具体的に結びつき、さらに深い思索へと導いていく大きな原動力になるものと考えます。

## 【対象】

これからの経営の中核を担う方々や経営幹部、行政官、政治家、NPO 幹部等を募ります。既にアスペン・セミナーに参加された方々も歓迎いたします。ただし対話という性質上、原則 20 名とさせていただきます。

## 【スケジュール】（予定）

	1 日目 3月1日(金)	2 日目 3月2日(土)	3 日目 3月3日(日)
朝食			
午前の部		8:30~11:50 セッションⅡ 「デモクラシー」	8:30~10:50 セッションⅢ 「市場と組織」
昼食			11:15~12:20 セッションレビュー
午後の部	13:00~14:20 オープニング・セッション 自己紹介 オリエンテーション	13:00~13:45 つづき 13:45~14:50 セッションレビュー	13:00~15:00 総括セッション
	14:30~17:50 セッションⅠ 「ヒューマニティ」	自主研修 15:30~17:30 懇話会	
	18:05~19:10 セッションレビュー	18:00~19:30 夕食会	
	19:20~20:50 レセプション		

## 【テキスト】

アリストテレス『ニコマコス倫理学』、アダム・スミス『道徳感情論』、福澤諭吉『文明論之概略』、プラトン『国家』、ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』、マックス・ヴェーバー『職業としての政治』、フリードリヒ・A・ハイエク『法と立法と自由Ⅲ 自由人の政治的秩序』、ケインズ『自由放任の終わり』、アンドリュー・カーネギー『富の福音』などの作品からそれぞれ抜粋した全 12 テキストです。

例えば、福澤諭吉『文明論之概略』では、なぜ日本人に独立自尊の精神が乏しかったかをテーマに西洋文明と比較して、日本文明の由来や特長として権力と個人の問題などについて考えます。

ヴェーバー『職業としての政治』では、政治家に求められる倫理をテーマに政治と倫理の関係や政治家における倫理のあり方などについて考えます。

ケインズ『自由放任の終わり』では、現代社会は個人と国家を分解しては理解できず、大企業や労働組合など中間的組織が調整機能の役割をはたしているなどについて考えます。等々。

※テキストは本セミナーのために編纂しましたので、他のアスペン・セミナーのテキストとは異なります。

#### 【モデレーターおよびリソース・パーソン】

「モデレーター」は、参加者間の対話を活性化すると同時に、対話の流れを適切な方向に導きます。「リソース・パーソン」は、各専門の立場から対話の質を高め、実り多いものとするため、節度ある助言を行います。猪木武徳先生の他に、次の方々にご担当いただきます。



#### 押村 高 氏

(青山学院大学 副学長、国際政治経済学部教授)

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、1997年早稲田大学博士号取得、1999年教授(至現在)。2012年青山学院大学国際政治経済学部長、2015年青山学院大学副学長。

専門は、政治思想史、国際関係思想史、フランス政治。

著書:『モンテスキューの政治理論』、『国際政治思想』、『国際正義の論理』など。



#### 堂目 卓生 氏

(大阪大学総長補佐、同大学院経済学研究科教授)

1983年慶応義塾大学経済学部卒業、1988年京都大学経済学研究科博士課程単位取得満期退学、1996年大阪大学助教授、2000～2001年ロンドン大学客員研究員、2001年大阪大学教授(至現在)。専門は、経済思想史。著書『アダム・スミス「道徳感情論」と「国富論」の世界』で、2008年度サントリー学芸賞(政治経済部門)を受賞。



#### 高橋 文郎 氏

(青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授)

1977年東京大学教養学部教養学科卒業、1982年ペンシルベニア大学ウォートンスクール経営学修士、株式会社野村総合研究所等を経て、2004年青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授、2007年～2015年同研究科研究科長。

専門は、企業財務論、証券投資論、ベンチャー投資論、企業倫理。

著書:『ビジネスリーダーのフィロソフィー』、『コーポレート・ファイナンスー基礎と応用ー』など。



## 雨宮 寛 氏

(元東京海上ホールディングス株式会社代表取締役副社長)

1973 年一橋大学法学部卒業、東京海上火災保険株式会社入社、2003 年同社執行役員経営企画部長、2005 年同社常務取締役、2008 年東京海上ホールディングス株式会社専務取締役、2010 年同社取締役副社長(代表取締役)、2013 年損害保険料率算出機構専務理事、2015 年同機構退任。

### 【対話の進め方および事前準備について】

『対話(ダイアログ)』は、議論やディベートとは異なり、テキストの特定の箇所に対する『気づきや洞察(見方や考え方)』をご発言いただき、モデレーターがリードし対話を進めます。また、セッションレビューや総括セッションでは、各テキストのポイントを共有し、現実的課題への思索の糧にさせていただきます。

そのためには、事前の読み込みが大変重要になります。自分なりの考えなどを意識しながらテキストを読み込んでいただきます。さらに、可能であれば、著者の主張について、その背景や理由などを調べると読み込みの助けになります。

### 【懇話会】 <2 日目午後に予定>

講演者：野口 雅弘 氏 (成蹊大学法学部教授)



1993 年早稲田大学政治経済学部政治経済学科卒業、2001 年同大学院政治学研究科博士課程単位取得退学、2003 年ボン大学大学院哲学部で博士号取得。2004～2008 年横浜国立大学経済学部非常勤講師、2007 年早稲田大学政治経済学部助教、2008 年岐阜大学教育学部准教授、2010 年立命館大学法学部准教授、2013 年同教授、2017 年成蹊大学法学部教授(至現在)。著書:『闘争と文化ーマックス・ウェーバーの文化社会学と政治理論』、『官僚制批判の論理と心理』など多数。

### 懇話会題目：官僚制と現代日本政治

#### 《要旨》

城山三郎の『官僚たちの夏』の舞台になったのは東京オリンピックの前年、1963 年夏の通産省だった。「国土」型官僚という言葉があるが、このころの官僚はまさにこれだった。二度目の東京オリンピックを翌年、2020 年にひかえて、いま私たちが目にしているのは、「忖度」する官僚たちである。今回の懇話会では、官僚および官僚制をめぐる言説の変容をたどることで、現代日本政治について考察する。

90 年代の官僚制バッシングから、小泉政権の「官から民へ」、そして民主党政権の「脱官僚」、さらには現在の安倍政権の「官邸主導」(あるいは「一強」)へ、という展開を、私たちはどのように理解したらよいのか。M・ウェーバー『支配の社会学』、C・シュミット『政治的ロマン主義』、J・ハーバーマス『後期資本主義における正統化の問題』など、政治理論・社会理論の古典文献を参照しながら、この展開を読み解きたい。

【参加料金】

正会員企業、フェローズ会員 : 30万円/人  
賛助会員企業 : 32万円/人  
非会員企業 : 35万円/人 (各税込)

【お支払方法】

参加確定後、請求書をご送付いたします。請求書に記載の期日までにお振込みください。

【テキスト送付時期】 1月上旬を予定

【キャンセルについて】

お申込み後キャンセルされる場合につきましては、以下のとおりキャンセル料金を頂戴いたしますので、ご了承ください。

【キャンセル料金】

参加確定後	¥30,000(税込)
セミナー開催 30 日前～開催 8 日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の 3 割(税込)
セミナー開催 7 日前～開催 2 日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の 4 割(税込)
開催日前日および開催日当日	参加料金の 5 割(税込)

【お申込み方法】

添付の申込書にて、必要事項をご記入の上

電子メール ag-s@aspeninstitute.jp または FAX:03-3405-1668 にて

**2018 年 12 月 25 日(火)までに** お申込み下さい。

※ 原則定員 20 名とさせていただきます。ご参加確定につきましては、申込み締切後にご連絡致しません。

※ 万が一お申込み多数の場合は、誠に恐れ入りますが、会員企業および先着優先にて受付させていただく場合がございますのでご了承くださいませ。

※ また、同一企業からのご参加は、人数を制限させていただく場合がございます。

詳しくは日本アспен研究所セミナー事務局(橋本・三村)に、できればメールにてお問い合わせください。

一般社団法人日本アспен研究所  
〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル2階  
E-mail: ag-s@aspeninstitute.jp / TEL: 03-6438-9208





# セミナー参加申込書

2018年 月 日

第3回「アスペン現代社会セミナー」に参加申込みをします。  
(2019.3.1～3.3開催)

## 〔ご参加者〕

企業・団体名： \_\_\_\_\_

所在地：〒 \_\_\_\_\_

部署・役職： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_ 性別： \_\_\_\_\_

氏名よみがな： \_\_\_\_\_

電話番号（必須）： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

E-mailアドレス（必須）： \_\_\_\_\_

※- (ハイフン) や \_ (アンダーバー) が入る場合、どちらであるか明確にわかるようにご記入下さい。

生年月日： 19 年 月 日生 ( ) 歳 ←年齢は必須

自宅ご住所：〒 \_\_\_\_\_

自宅お電話： \_\_\_\_\_

〔ご担当秘書〕 ※セミナー開催前にご連絡を差し上げます。その際窓口になって頂ける方のお名前をご記入ください。ご本人に直接ご連絡を差し上げてよろしければ、ご記入は不要です。

部署・役職： \_\_\_\_\_

氏名（よみがな）： \_\_\_\_\_ ( )

電話番号（必須）： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

E-mailアドレス（必須）： \_\_\_\_\_

〔テキスト送付先〕

※いずれかを○でお囲み下さい。

ご勤務先

自宅

※※ご自宅へ配送の場合、ご希望時間帯があれば、いずれかを○でお囲み下さい。

午前 14~16時 16~18時 18~20時 20~21時 指定なし

〔ご請求書のご送付先〕 ※いずれかを○でお囲みください。

ご参加者宛て

ご担当秘書

その他の方宛て



※その他の方宛ての場合は、ご送付先をご記入ください。

請求書送付先住所：〒 \_\_\_\_\_

企業・団体名 : \_\_\_\_\_

部署・役職 : \_\_\_\_\_

氏名 : \_\_\_\_\_

電話番号 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

E-mailアドレス : \_\_\_\_\_

その他、セミナー事務局へのお知らせ等がございましたら、ご記入下さい。

※誠に恐縮ですが、**2018年12月25日(火)までにE-mailまたはFAXにて**ご送付下さい。

上記締切日後、参加の可否についてご連絡致します。

【申込先】一般社団法人日本アспен研究所（三村）

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル 2階

TEL 03(6438)9208 FAX 03(3405)1668

E-mail:mimura@aspeninstitute.jp